

Gocco  
vol.2  
magazine  
Shonan

[特集]  
秋  
を  
海  
遊  
び

2006 vol.2  
Free 0円  
自宅や職場まで  
お持ち帰り  
ください。

日本最大級のクーラー SNS [Gocco : ゴッコ] と  
湘南ビーチFM がクロスするフリーマガジン!!

<http://gocco.jp>





Gocco Magazine SHONAN はこちらでお受け取りになれます

**[葉山]**

アフィーテ葉山  
アロハハヤマブティック  
欧風パン・ティールーム ブレドール  
夏至南風（カーチバイ）  
カデンツア  
京急葉山交通（タクシー）  
げんべい  
スズキヤ 葉山店  
タントテンボ  
茶亭「葉山」「日の出園」  
中国料理海狼  
BIO COMPLEX HAYAMA  
葉山一色郵便局  
葉山町文化会館  
葉山町役場  
葉山町立図書館  
葉山堀内郵便局  
葉山マリーナ  
葉山郵便局  
日影茶屋  
元町ユニオン葉山店

レストラン ラ・マーレ・ド・茶屋  
ローソン長柄逗葉新道店

葉山工務店  
ブックス二宮  
MOLA MOLA

**[逗子]**

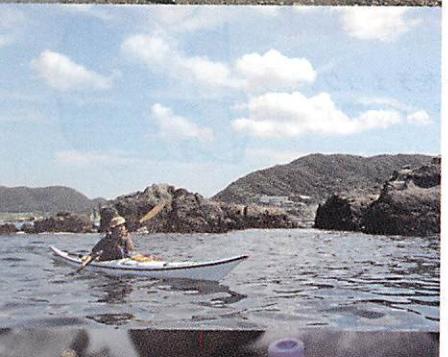
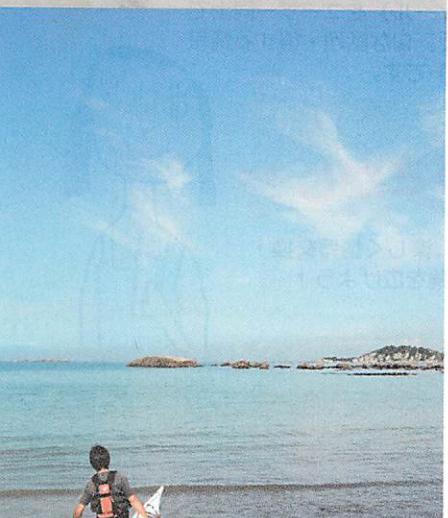
アンドウ電気照明  
井上商店  
カフェ ジャメル  
からだファクトリー  
キリガヤ  
佐久間不動産  
逗子菊池タクシー  
逗子市役所  
逗子市立図書館  
逗子文化プラザ  
逗子レコード  
スズキヤ 逗子駅前店  
スリーエフ逗子駅前店  
デニース逗子店  
都富歯科  
中田クリーニング  
ノアノア  
ハウスモリー逗子 new

元気動物病院  
辰巳

**[鎌倉]**

ココパームス（銀座）  
サイプレス葉山（秋谷）  
湘南ちがさき屋（茅ヶ崎）  
Tower Records 藤沢店  
ディスクマート大津店（横須賀）  
ディスクユニオン横浜西口店  
BLUE NOTE TOKYO（南青山）  
MotionBlue 横浜  
レコファン横浜西口店  
レストランマーロウ（秋谷）

※上記のほか「SHOP LIST」掲載店舗では、掲載各号が設置されております。また、設置ポイントは断りなく変更される場合があります。



**2 SHONAN AREA MAP**

# 5 [特集] 秋こそ海遊び

- 優美にして、ヨットの原型のような小舟  
6 駆った A 級ディンギー

- 穏やかさと猛々しさが交差する“究極”のマリンレンジャー  
8 ヨットレース同乗記

- 水面から陸を眺め、無人島を探検する  
10 シーカヤックで湘南の海を散歩

- 海からの贈り物を拾う  
12 小ビンを集めるビーチコーミング

- 「日本最大級のケータイ SNS」は、ブログが楽しい  
14 Gocco あなたの海遊びを公開しよう

- 16 YUKI の「湘南番付」

- 18 789 揭示板

- 20 Shonan Beach FM 78.9 Time Table

- 22 Shonan SHOP LIST

- 28 Shonan Bazaar

- 30 湘南主義

■表紙  
イラストレーター 鈴木英人



発行日：2006年9月15日

発行：Gocco 株式会社  
〒154-0004  
東京都世田谷区太子堂 4-3-2 DS 三軒茶屋ビル 6F  
tel: 03-5779-1230  
E-mail: info-shonan@gocco.co.jp

編集：ゴマックス株式会社  
〒105-0001  
東京都港区赤坂 1-9-3 日本自転車会館 3号館  
tel: 03-5114-5065  
編集協力：逗子・葉山コミュニティ放送株式会社  
〒240-0112  
神奈川県三浦郡葉山町堀内 50-2  
tel: 046-875-0121

©Gocco inc. 2006 本誌掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。

Autumn, the best season of the Sagami Bay

# 秋こそ海遊び

湘南での海遊びは、  
夏限定と考えている人が多いかもしれません。  
しかし、ビーチが静けさを取り戻し、  
年間でいちばん水温が高くなり、  
心地良い潮風に包まれる秋こそが海辺、  
あるいは海上で過ごすにはうってつけのシーズンなのです。  
深まる秋にふさわしい海遊び、  
ヨット、シーカヤック、ビーチコーミングの深遠なる世界、  
人生のたのしみになるくらい引き込まれる魅力を  
それぞれの達人に教えてもらいました。

文：久野康宏（P5～7、P10～11）  
本誌・丸山頸応（P8～9、写真も）  
撮影：広田行正（P5～7、P10～11）

優美にして、ヨットの原型のような小舟

## 甦ったA級ディンギー

1972年まで国体、インカレなどの規格艇として多くのヨットマンを育んだA級ディンギーが姿を消して30余年。ここ数年、このヨットを復元する動きが活況を帯びている。現代に甦らせたヨットチームの一つ、慶應義塾逗葉ヨットクラブOB会「チーム逗葉」の方々に理由を聞いた。

石原兄弟から借り受けた  
最初の船がA級だつた

逗子湾を背景に、木製の船体から白い帆がすっと伸びたディンギーが現れた。濃紺の風いだ海をゆっくりと優美に走っている。

34年ぶりに甦った「A級ディンギー」である。1913年イギリスのジョージ・コクシヨットによる設計とも言われ、日本では1932年、日本ヨット協会設立時に最初のレース艇に採用された船だ。

操船する一人は慶應義塾逗葉ヨットクラブのOB。このクラブは慶應大学の学生で構成される集まりで、50年前に結成。当時はこの「A級ディンギー」で練習や競技に打ち込んでいたのだという。そして、体育会に属さない彼らはクラブの結成にあたり、自分たちでヨットを集めなければならなかつた。その時、たまたま石原慎太郎や裕次郎が所有し、逗子の海で乗っていたディンギーを借り受けたことになる。この船こそが「A級ディンギー」であった。クラブ創設時を知る一人、チーム逗葉の

会長、石川泰弥さん(62年卒)は「僕らはA級ディンギーでヨットのイロハを覚えた。そしてこの船を入れてから、だんだんと

OBが一線を退き、精神的なゆとりができた世代を中心へ、学生時代に乗つていたディンギーを甦らせようという話がもちあがつた。その最初の船はやはりA級ディンギーにすべきだろ」とインターンギーはわがクラブの原点であり、象徴するものといえます」と語る。

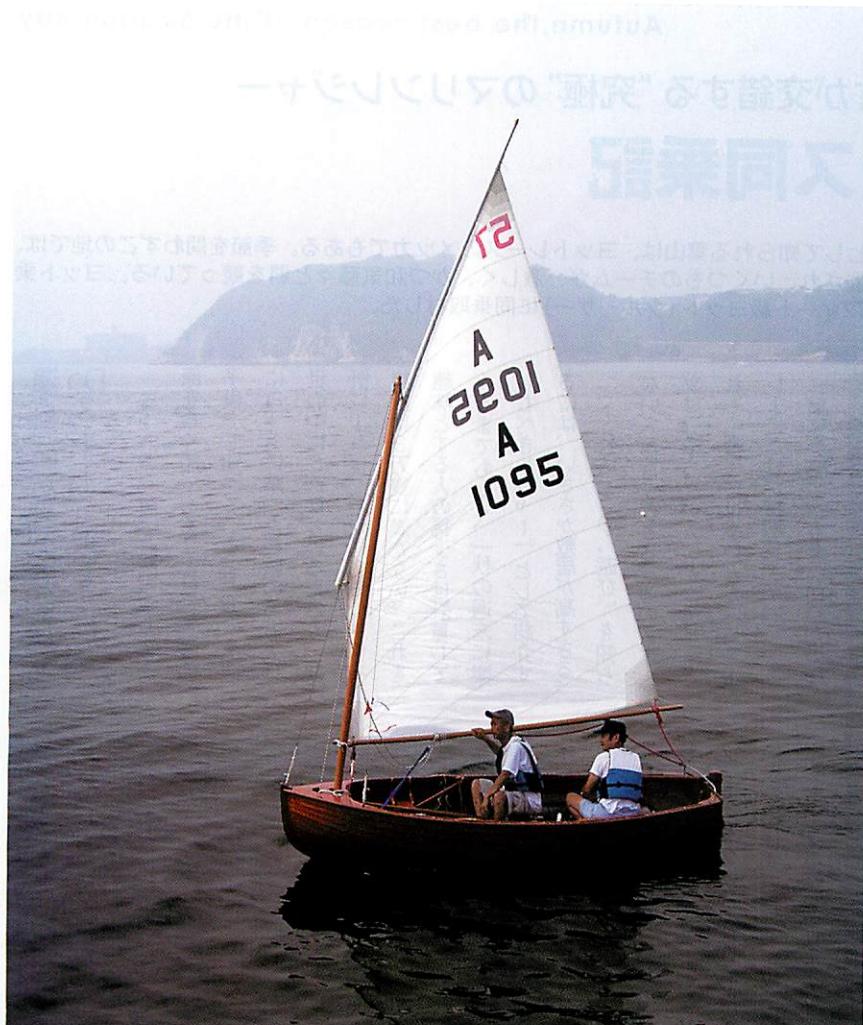
そのOBがA級ディンギーを甦らせることになる。この船こそが「A級ディンギー」であった。クラブ全国規模のレースを毎年催しているというのだ。さらに検索すると、



1968年から1970年頃の風景。逗子湾では慶應義塾の他、逗子開成や学習院女子などのクラブがA級ディンギーを走らせていました。



往時のA級ディンギーの設計を忠実にそぞり復元している工房が千葉県松戸市にあることもわかつた。石川さんははじめ、仲間と一緒に早速、その工房「糸川ボート研究所」を訪ねると、ちょうどボートショーに出展しようと4艇のA級ディンギーが造り置きされていた。船体の材質は従来の杉からマホガニーに変わつていて、造形はまぎれもなく、学生時代に葉山の海を帆走したあのディンギーだった。応対してくれた船大工は、大学OBの人たちからの引き合いが多く、すぐに手をつけないと売ってしまうと言つ。石川さんはあわてて有志を集め、資金のめどをつけて購入を決めたのだった。



▲40数年ぶりにA級ディンギーに乗る逗葉ヨットクラブのOB。自転車を漕ぐように、身に付いた操船技術は忘れてはいなかったそうだ。

「だから沈をさせず、なつかつ速く走らせるというのは、かなり高等技術がいること。スピードは速くないけれど、ヨット乗りとしての技術を要求される船でした」  
緊張感を強いられ、スキルの鍛錬も必要。最新の「ディンギー」より



#### チーム逗葉

インターネットでの出会いからとんとん拍子でA級ディンギーを手に入れた逗葉ヨットクラブのOB会は、下部組織として「チーム逗葉」を立ち上げる。鎌倉(あぶすり)ヨットハーバーをベースに、400人を数えるクラブOBが気軽にヨットをたのしめるような活動をスタート。今後は他のタイプのヨットも揃えていくそう。10月末まで毎週土曜にA級ディンギーのセーリングを行はうか、いずれは全国大会の出場を目指している。



▲糸川ボート研究所にて。船大工の糸川さんは古い船を分解、研究して自分なりに昔のディンギーの製図を忠実に引き、製作している。



▲滑車などの重要なパーツも木製のハンドメイド。60年近く木造船づくりに携わっている職人の技が光り、手の温もりを感じられる。



▲今年、江ノ島で開催されたA級ディンギーのヨットレース。大学ヨットクラブOBを中心に出場し、50艇ものディンギーで賑わった。

## 錨張りの板を波が叩く音をもう一度聴きたかった

A級ディンギーが、現在も主流の470級というディンギーにとてかわられた理由は、競技の世界がスピードを重視する傾向が強まつたから。また素材をFRPに変えることで、型に流して成形できるため、ローコストで大量生産が可能なメリットもあった。加えてA級は操船も難しかった。

「A級ディンギーはセイルが1枚しかないし、舵も利きにくいから走らせるのが難しい。それにすこし風が吹くと、ジャイブ(方向転換)をする際に、下手だと沈(転覆)しきしまつ」ともあった」と、チーム逗葉の副会長をつとめる藤山俊二さん(64年卒)は語る。

「転覆すると自力で起きるのはまず不可能だった。

「だから沈をさせず、なつかつ速く走らせるというのは、かなり高等技術がいること。スピードは速くないけれど、ヨット乗りとしての技術を要求される船でした」  
緊張感を強いられ、スキルの鍛錬も必要。最新の「ディンギー」より

スピードは遅い。そのような船をなぜ魅らせようというのだろうか。理由は実際に乗ってみないとわからないかもしれない、と藤山さんは言葉を続けた。

「船体は板を錨張りしているんです、この技術がなくなつたら、A級ディンギーは造れなくなる。その板にピシャッピシャッと波が当たる音が心地良いんですね。われわれディンギー乗りには忘れられない。ずっと耳に残っています。あの音をもう一度聴きたないと願い、甦らせたくなつたんです」

穏やかさと猛々しさが交錯する“究極”のマリンレジャー

## ヨットレース同乗記

「日本におけるヨット発祥の地」として知られる葉山は、ヨットレースのメッカでもある。季節を問わずこの地では、毎週のようにクラブレースが開催され、いくつものチームが、激しく、かつ和気藹々と競っている。ヨット乗船未体験の本誌編集担当が、30フィート級ヨット(クルーザー)に同乗取材した。

遠くで眺めるのではなく  
Doスポーツと捉えたい

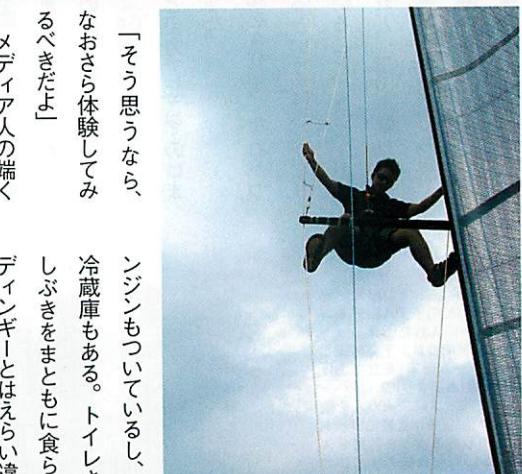
ヨットが、風を動力として海原をゆく船であることは、三歳の子供でも知っている。だが、実際にヨットに乗った経験のある人は、世の中にどれほどいるだろう。統計によれば、わが国のヨット保有隻数は3万隻に満たない。これを趣味とする人の稀少さは計算してみると、少なく、「秋の週末に楽しむべきレジャー」として紹介するには、いささか敷居が高すぎる。

「それは、この“遊び”を知らない人が言うことさ。海のスポーツは、やらない人にとっては、どちらも、敷居は高いんだ。ヨットレースだけが特別じゃない」

編集会議でこう言い切ったのは



▲クルー全員が一方の舷側に移動し、タッキングを開始したQUETEFEEK号。船体が傾いているのがわかる。



▲力いっぱいロープをたぐってセイルを操り、素早い動作で重心移動するヨットは、間違なく筋肉運動を伴う“スポーツ”である。航海中、マストによじ登ってセイルを張り替えることも。

木村太郎さんだ。お言葉ですが、ヨットって船酔いもひどそうだし、波しづきもたっぷり浴びるんでしょ? ましてレースともなれば、ファーストクラスの乗り心地とはいがいはず。「板子一枚下は地獄」という言葉もありますし……。

れとして、大先輩にこうまで勧められては逆らえない。筆者も実は最初から興味津々ではあったのだ。最大の不安は船酔いだが、なあに、どうせ海の真ん中に身をさらすのだと、たとえ粗相をして船を汚して迷惑かけることはあるまい。

### エンジン付き、冷蔵庫やトイレも完備されている

ある日曜日、筆者は、葉山マリーナヨットクラブ(HMYC)のクラブレースに参加するクルーザー・QUETEFEEK(ケツトイク)号の船尾に乗り込だ。同号は全長約10メートル。工

「駆け足くらいの速さですね。今日は軽風だから、こんなもので速12・6キロ)くらいかな」  
船を取るキャブテンのダイスケさんが解説してくれた。このコ

どのことだから、平均船速は時速6キロちょっとの計算になる。えつ、そんな程度なの?

「駆け足くらいの速さですね。今日は軽風だから、こんなもので速12・6キロ)くらいかな」  
船を取るキャブテンのダイス



水面から陸を眺め、無人島を探検する

## シーカヤックで湘南の海を散歩

青い空が気持ち良く広がる秋は、シーカヤックで海上散歩をたのしむのにベストシーズン。ちょっと沖合に出で、海面ぎりぎりから海岸や街を眺めたり、無人島を巡ると、非日常的な景色や身近な大自然の存在に気づくはず。そんな冒険気分を味わいに、この秋は海へと漕ぎ出してみよう。

### 海岸から、わずか一キロ 沖合に控える大自然へ

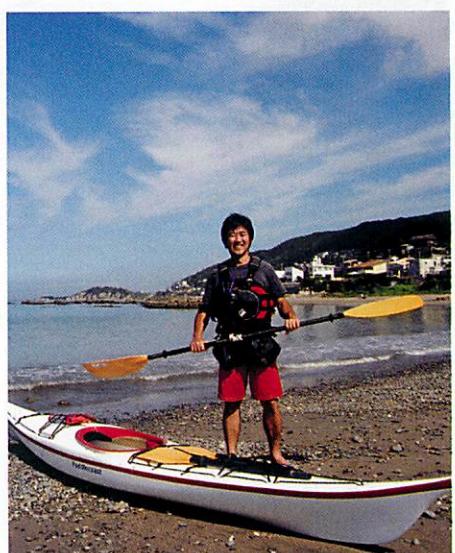
シーカヤックとは全長4~5メートルの、いわば海のカヌー。川用カヌーとの違いは直進性があること。海では転覆しにくい安定性が求められるため、必然的にそうしたデザインとなるのだ。

シーカヤックの大きな利点は、エンジン付きのボートでは立ち入れない沿岸の岩礁や浅い海域も自由自在に航行できることにある。

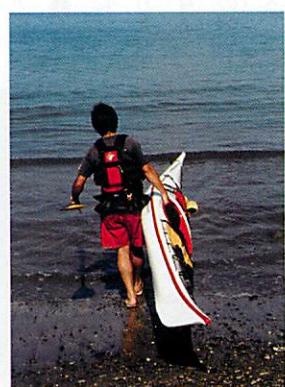
葉山から城ヶ島にかけての三浦半島西海岸は近づいたり上陸可能な無人島、静かな入り江、シークレットビーチが点在していて、太潮の干潮時には海から干潟へと入り、さらにはそのまま川を遡れるような素晴らしい湾もあつたりする。いずれもシーカヤックならば、容易にアクセス可能な場所ばかりだ。

また、町が海岸に迫っているのも三浦半島の特徴で、そのため万一千、海が荒れても近くの浜へ避難し、バスで出発地点まで簡単に戻ることができるのも嬉しい。

地形と環境の多様さ、都会から



▲水着とタオルを持参すれば(できれば水中でも脱げないマリンブーツも)、あとはすべて貸してくれる。シーカヤックは転覆しないか?と不安を覚える人は多いが、よほどのことがない限り大丈夫だし、万一転覆しても山口さんとスタッフがバックアップするので安心を。



◀FRP製のシーカヤックの重さは20キロほど。男なら一人で持ち運ぶことも可能だ。保管場に困っている人は艇庫に預ける手もある。

の便の良さなど総合的にみて、相

模湾を望むこの海岸線は全国に誇れるシーカヤック天国なのだ。

横須賀市の久留和(くるわ)漁港のそばで13年前から「コアア

ウトフィッターズ」を営む山口浩也さんは、まさにこの理想的な

エリアを拠点に、体験、スクール、

ツアーなどさまざまな方法でシーカヤックの魅力を多くの人たちに伝えてきた。

「久留和という海岸は人が少なくて、時間の流れも遅い漁村という

ことで、すごく魅力があつたので、この場所を選んだのです。」

山口さんが言うように、久留和は隣接する葉山や秋谷とも異なる、

ゆったりとした独特の空気感が漂

い、心がとても安らぐ地域だ。砂

浜は海岸近くの大岩や護岸に守られ、台風が直撃せぬ限り、さざ波が寄せている。そんな穏やか

なビーチから山口さんと一緒に漕ぎ出で自指したのは1キロほど沖

に位置する無人島、尾が島だ。

島の周囲は極端に浅くなつてい

て、そこに黒潮の分岐流が流れ込

んでいる。それゆえ海底の様子が見えるほど海水の透明度が高く、

秋から冬にかけては、そのクリアな水越しに、はるばる南の海から旅してきた美しい瑠璃色の魚たちの姿を観察できるのだ。

実際 10月いっぱいまではシーカヤックから降りて泳げるほど水

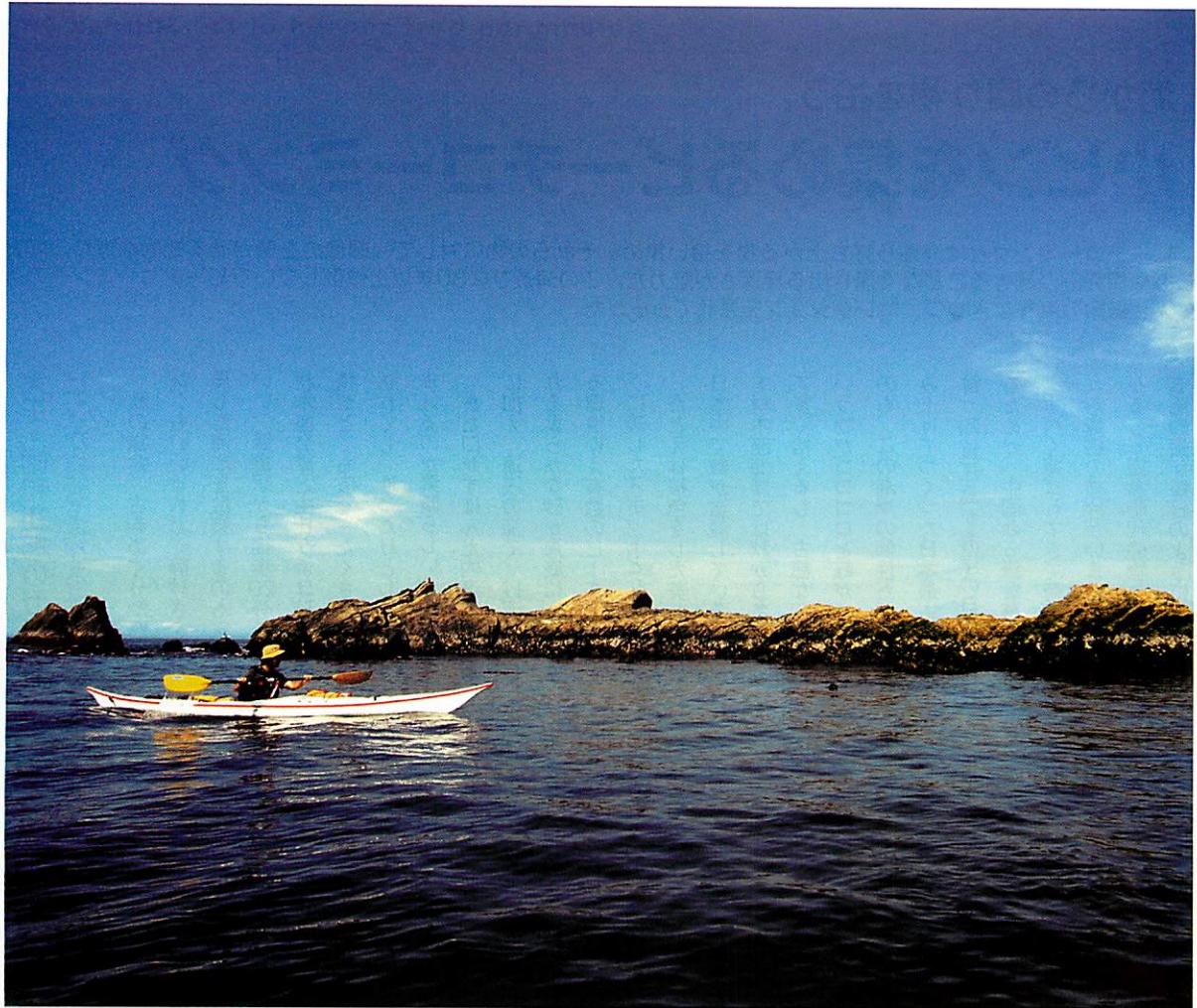
は温かい。海で泳ぐのは夏だけ

というが、それも納得なのだ。  
島に自分自身の力で漕ぎ渡ると

いう体験にほとんどの人が感動し、シーカヤックにのめりこんでいく

いう先入観のある人、そして生活排水が流入し、濁った沿岸部の海水の色を見慣れた人には、尾が島で目にしたり、包まれる水の清々しさに衝撃を受けるであろう。そして、相模湾に抱いていたイメージを良い意味で根柢から覆されてしまう人もいるかもしれない。なにより称賛すべきは、そうして大自然が町と連続する海岸から目と鼻の先に控えている点。初めてシーカヤックを体験するビギナーでも楽に到達できる距離なのだ。

島に自分自身の力で漕ぎ渡るという体験にほとんどの人が感動し、シーカヤックにのめりこんでいく



▲尾が島付近を散歩。秋は島まわりで素潜りに興じることも。岩礁の向こうには、海へ突き出た長者ヶ崎のダイナミックな景観も見える。



### コア アウトフィッターズ

シーカヤック体験は一人から受け付けているので、気軽に門戸を叩いてほしい。午前の部と午後の部があり、半日は5250円。一日コースは10500円。平日には10時半集合の14時まで、ランチ込みという「平日体験クラス」も用意し、6300円。

所在地●横須賀市秋谷4296-5

電話●046-858-0180

営業時間●11:00~19:00 定休日●火曜

URL●www.koa-outfitters.com

海拔ゼロメートルの視点  
から陸を眺めると……  
尾が島で休憩した後、海岸に戻ると漕ぎ始めた時、砂浜、町、山といった地域の風景がパノラマ状態で視界に飛び込んできた。海

全体の中でもうとすると、非常に達和感がある建物が「気づくこともあります」と山口さん。そう、シーカヤックとはいいろいろな意味で意識が変わる、実にディープな海遊びなのだ。

から陸を眺めると、陸上でふだん過ごしている僕らの視野がいかに狭いかを思い知られる。そして海拔ゼロメートルからの、数々の発見に一喜一憂することになる。「シーカヤックからは見たないものも、たくさん見えてしまう。たとえば、景勝地の長者ヶ崎にはゴミが南風で運ばれて溜まる浜があるのですが、陸からは気づきにくい。僕らは毎年ゴールデンウイーク前後にこの海岸を掃除して、カヤックで「ゴミを運んでいます。また陸ではひとつつの建物しかに入らなくとも、海側から地域

海からの贈り物を拾う

# 小浜を集めるビーチコーミング

ビーチコーミングとは海から打ち上がる物を拾い集め、それらの物に対して、想像力を働かせる知的な遊び。好奇心や探究心が尽きることなく湧き出る奥深さが魅力だ。この海遊びに30年以上傾倒しているビーチコーミングの達人と鎌倉の浜を歩きつつ、コレクションを見せてもらった。

## 大正・昭和初期のガラス ビンが打ち上がる砂浜

秋の鎌倉。古寺めぐりやハイキ

ングもいいけれど、静けさを取り戻した海岸を散策するのも気持ちいい。鎌倉駅から徒歩20分ほどの材木座海岸と由比ヶ浜は砂浜の面積がとても広く、たくさん的人が訪れて、ゆったりとした気分で歩けるのが素晴らしい。

また「口すばんだ内湾状の地形に加え、遠浅の海で、砂泥と呼ばれる柔らかな砂が海底にたい積する環境ゆえ有数のビーチコーミングに適したスポットとなっている。たとえば桜色をした美しい桜貝。日本中で数が激減しているこの貝を材木座海岸では秋から冬にかけて多く拾えるし、古都ならではという物がゴロゴロと転がっているのも、この海岸の個性だ。石を積み上げてつくった日本最古の築港跡、和賀江島が海岸の目前にあらためか、中国から鎌倉幕府に献上すべく運ばれてきて荷下ろしがれた青磁の破片がいまだに打ち上がり、鎌倉時代の物と想像できる馬の歯が毎日のように波に運ば

れてくる。それは古戦場の名残なのか。800年以前の物を波が日々、現代の浜へと届けているのである。

そうした歴史にロマンを馳せることができる打ち上げ物のひとつ、ガラスビンに10年前から着目し、ほぼ毎週末、浜を歩き収集しているのが北鎌倉在住の山田 稔さん。それらのガラスビンは主に海岸近くや川に捨てられた物が海底へ運ばれたらと思われる。砂中1~2メートルに埋もれるガラスビンは大きなうねりが来た時に掘り起こされ、2~3日後に砂浜へと打ち上げられるのだ。湾内に岩が少ないこともガラスが割れにくい要因なのだろう。山田さんはとりわけ、古いガラスビンに惹かれていたりする様子だ。

「明治・大正時代に使われていた古いガラスビン、コルク栓のインクビン、コバルトブルーで立つ目薬のビン、凹凸文字（エンボス）で書かれた白髪染めや石横書きのクリアのビンなど、中には歴史的な価値がある物も。これら

形になつたりと粗雑なつくりが読み取れます。それらは当時の生活の証人でもあるため存在感があります」

山田さん以外にもビンのかたちや透明感に心を奪われる地元のビーチコーマーが多く、拾われる率が高い場所だが、浜を歩くたびにコンスタントな出会いがあると聞く。山田さんは透明なガラスなのだが、時代に沿つて、彼は特異なガラスの変化に気づくのである。ほとんどのビンは透明なガラスなのだが、時おりブルーやシルバー、ゴールドなど虹色にきらめいているビンを見い出したのだ。それはまさしく

希少な「銀化ビン」だった。



▲材木座海岸でビンを拾う山田さん。干潮時の波打ち際を、集中力が途切れない程度(約1時間)歩くのが、多くの出合いを生む秘訣。



▲山田さんが10年かけて拾い集めたガラス瓶の一部。昔前の薬品瓶、クスリ瓶などの小瓶はかたちが可愛く、味わいがある。



▲内部が虹色にきらめく銀化ビン。ガラス内部の表面の酸化ナトリウムが溶け出で薄くなり、残った珪素の部分が網状になって光る。

## 海の力で虹色にきらめく 銀化ビンに心奪われて

銀化ビンはいずれも内部の表面が光を反射してきらめいていて、その大半は透明な瓶だが、コカコーラの瓶のような薄いグリーンの瓶、茶色のクスリ瓶、黒いクスリ瓶なども銀化していたそうだ。ちなみに一般的に銀化とは古いローマ時代のガラス容器が土の中で500年～1000年の時を経て化学変化を起こし、きらめく現象を指す。土中ではそれだけの時間を持つのに、海の砂泥中に浸かる大正・昭和のガラス瓶は30～50年ほどで銀化現象を起すことを山田さんは確認したの

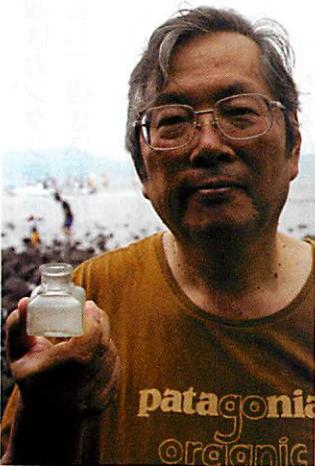
だ。

「海の底で長い間はぐくまれてはじめてガラスが化学変化を起こし、きらめきが形成されるのですから、さしづめ真珠のように価値ある物と言えるでしょう。古いビンを慈愛などに並べて飾っている方もいますが、一緒に銀化ビンを並べると一層輝いてみえます。劣化しつつ、きれいになるというのがなんといっても良いですね」

山田さんの推察によると、海の中で銀化が起こるために、内湾性でプランクトンの死骸などの有機物が入った砂泥であることが第一の条件となるそう。さらにその砂泥が瓶内部に入り、新鮮な海水が出入りせず、有機物が分解されていくと貧酸素状態となり、銀化現象が始まるのだとか。銀化ビンを見つけるコツを聞いた。

「ビンに海水が入っていると、

最後に山田さんの一番のお宝を拝見した。それは「CAWS INK」と刻印されたインクビンだった（左の写真。手に持っている物）。1890年にアメリカで製造されたビン。大統領も用いていた物だ。記者の人がアメリカで買って、文豪の先生に献上したビンが海上に流れてきたんだと思いますね」と誇らしげにビンを見せびらかす山田さんの顔には、子供のことく純粋な笑みがこぼれていた。



山田 稔さん

オフの日には自然観察、里山の手入れ、俳句など、山や海で多彩な遊びをたのしむ趣味人。ビーチコーミング日記や、銀化ビンの詳細は下記のホームページで紹介している。

<http://kamakuratoday.com/suki/kaito/index.html> (鎌倉Today)  
[http://homepage3.nifty.com/nishimura\\_ya/kaito/index.htm](http://homepage3.nifty.com/nishimura_ya/kaito/index.htm) (海人のビューポート)

「日本最大級のケータイSNS」は、ブログが楽しい

# Goccoであなたの海遊びを公開しよう

いまや年齢・性別を問わず、誰もが当たり前のように身に附いている携帯電話。でも、あなたのケータイライフは、モシモシとメールで止まっているのか? カメラが付属したり、インターネットに接続できたりするケータイは、使い方次第で、もっともっと楽しくなる。ケータイSNS[Gocco:ゴッコ]で、海遊びをブログに書こう。

**ブログ**

[へ②ブログ一覧へ](#) ↓みんなのコメント

**G DZXのブログ**

06/09/11 14:13

**ヨットに乗ってきました!**

夏休みに、湘南でヨットに乗ってきました♪  
[募集] [削除]

**RECOMMEND**

ケータイのブログだから  
瞬間を思い出にできる

ここ数年、パソコンで記事を書いて、インターネット上で公開する「ブログ」が大人気。本誌読者の中にも、ブログを開設している方は少なくないのではないか? だけど、楽しいパソコンのブログにも面倒臭い点がある。それは、「ブログを書こうと思ったら、いちいちパソコンを立ち上げる必要がある」ということ。そのときに、「思ったこと、感じたこと、見つけたこと……等々を、自在に書き込めるのがブログのいいところなのに、端末が手元にないと始まらないのでは魅力半減だ。

ここ数年、パソコンで記事を書いて、インターネット上で公開する「ブログ」が大人気。本誌読者の中にも、ブログを開設している方は少なくないのではないか?

ケータイのブログだから  
瞬間を思い出にできる

その点、Goccoは、いつも肌身離さず身につけているケータイのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サイト)。思いつともできるから、写真付きブログ撮った写真をアップロードすることもできるから、写真付きブログも手間なしカンタン。

これからいよいよ絶好シーズンを迎える湘南の海遊び。遊びに行つた先で発見したり、体験した思い出を、その場でどんどんケータイからブログにアップしよう。そして友達や、これから友達になるはずの未知なるGocco仲間に、どんどん公開してしまおう!

手順はカンタン! 楽チン! 入会して書き込むだけ

1 メール登録

2 ログイン

3 ブログ登録

4 ブログ登録

さて、Goccoブログを楽しむ手順だが、まずはGoccoに登録しないことは始まらない。まだ未入会の方は、登録手続きを済ませてほしい。もちろん登録無料。下の空メールアドレスかQRコードを使えば、入力ラクチンな登録フォームにつながるよ。

手順はカンタン! 楽チン! 入会して書き込むだけ

は実際にカンタン。ケータイ画面の表示に従って「②ブログ」→「③新規ブログを書く」→「④写真

表示」→従って「②ブログ」→「③新規ブログを書く」→「④写真

さつそく写真付きブログに挑戦しよう。Goccoに登録してログインすると、「最初のページ[①マイページ」が表示される。その後の手順

くどく、メールが立ち上がる。そのとき、ケータイカメラで撮っておいた写真を添付して、メールの「件名／本文」のところに、ブログの件名と本文を入れればOK。

ケータイからアクセス!  
http://gocco.jp

空メールを送信して簡単登録!  
s01@gocco.jp

▶ QRコード対応の携帯電話をお持ちの方はコチラから。

子どもたちの未来のためにも  
シュガーレディは合成添加物を使いません。



より安心できる生活を送りたい。

私たちの世代だけでなく、地球で暮らす子どもたちが、

健康で幸福であるように。

シンボルマーク「地球とリボン」にそんな願いを込めて、

シュガーレディは、製造・加工の際に合成添加物を使わない冷凍食品を  
直接お客様のお宅にお届けしています。

高級冷凍食品の  
ホームデリバリー



 **Sugarlady**

株式会社 シュガーレディ本社 〒140-0001 東京都品川区北品川1丁目9番2号 TEL.03(5463)1411

お問い合わせカタログのご請求は

 **0120-804-222**

シュガーレディ湘南／シュガーレディ横浜／シュガーレディ東京／シュガーレディ城東  
シュガーレディ城南／シュガーレディ多摩／シュガーレディ埼玉／シュガーレディ茨城  
シュガーレディ千葉／シュガーレディ静岡／シュガーレディ浜松／シュガーレディ東海  
シュガーレディ京阪／シュガーレディ関西／シュガーレディ広島／シュガーレディ福岡

# YUKIの湘南番付

湘南ビーチFM毎週日曜日  
「Shonan Breeze」内の1コーナー「湘南番付」では、湘南のあらゆるモノのランキングを発表しています。本誌では毎回テーマ別に、DJ・竹下由起が「湘南番付」をご紹介！

今月の  
テーマ

秋といえば…

「芸術鑑賞をしたくなったら  
どこに行きますか？」

「お腹いっぱい食べたい時は  
どこに行きますか？」

「何かスポーツしてますか？」

湘南の人、特に逗子、葉山、鎌倉の人たちは、どんなお店を好み、どんな場所を愛するのか。

番組では、毎週いろいろなテーマを設けてアンケートをとり、それをランキング形式で発表します。20代~60代の皆さんからご回答をいただきました。

今回のテーマは、「秋といえば…」  
芸術の秋、食欲の秋、スポーツの秋。それぞれの秋について伺ってみました。

都内ほどの数ではないけれど、それでも美術館、博物館、アート

そして、いつも増してお腹がすくこの季節。海からあがった後は、特にお腹ペコペコですよね。

でも運動してカロリーを消化しないと。皆さんどんなスポーツをしているのでしょうか。

夏が過ぎても、湘南にはいろいろな楽しみがあります。

ギャラリーは増えきました。散歩のついでにふらりと寄つてみたり、美術館のカフェでゆったりお茶を飲んでみたり。

また、毎年4月下旬から5月中旬にかけては葉山芸術祭というイベントが恒例になっています。自宅を開放したり、お店の片隅に作品を展示したり、葉山つてこんなに沢山のアーティストがいるんだ！と驚いてしまいます。

そんな時は、まず量が多い、早い、美味しいお店が人気あります。今回1位になったあぶずり食堂の中でもオムライスをあげてくれます。これが多かったです。ここの大盛りライスは、ケチャップライスに、どどーんと卵がのっている。そう、ライスを包むなんてことしません。のっけてるんです。そのダイナミックさがまた嬉しい。大食漢にはたまりません。

私は海岸をジョギングして、復路シーグラスを拾つて帰ります。色黒なので、「何かマリンスポーツしてるの？」と聞かれることが多いのですが

歩いたのですが、実は湘南地域は犬を飼っている人が多い。ゆえに、お散歩をウォーキングのエクササイズとしている人が半数以上を占めました。

かつたのですが、実は湘南地域は犬を飼っている人が多い。ゆえに、お散歩をウォーキングのエクササイズとしている人が半数以上を占めました。

Shonan Breeze

毎週日曜日  
12:00 ~ 18:30  
On Air!  
DJ: 竹下由起



日曜午後の、のんびりしたひととき。葉山マリーナから湘南の海風にのせて、心地よいサウンドをお届けします(湘南番付は13:00~)。





「789掲示板」は、リスナーのみなさんと湘南ビーチFMをつなぐページです。放送では流れない（流せない？）裏話やとつておきのトピックスなどを番組パーソナリティやスタッフが好き勝手に書いてます。Goccoのコミュニティには、もっとスゴイ話がのっているかも…。

湘南ビーチFM各プログラムのパーソナリティが、自分の番組（自番）をひたすら賛美（自賛）してしまったコーナー。第2回目は、毎週日曜日19:00～20:00放送の「ザ・ビッグバンド・エラ」から、横山典正が登場です！



「ザ・ビッグバンド・エラ」  
毎週日曜日 19:00～20:00  
DJ：横山典正

初期のアメリカ音楽文化の大きな流れの一つ「Bigband era」（ビッグバンドの時代）。この時代がなければ、後の世のアメリカンポップスは現在と異なる誕生をしたのではないか。そんな時代の音楽をお楽しみください。

## 自 番 じばんじさん 自 賛

### 番組を支える、「日本一」のオールディーズ・コレクション

日本にラジオ局多めといえども、こんな番組は他にはないだろう。ハリー・ジエームスからベニー・グッドマン、ドーサー兄弟など、米国中をスイングさせたビッグバ

ンドを特集する、と言うは簡単だが、オールディーズのコレクションなら日本一と自負する湘南ビー

ハリーデーの時代」は、1930年代半ばから40年代半ばまで約10年に限られるが、この短い間に世に出た楽曲のメロ

ニティラインの豊かさには、番組をやってみて改めて驚かされる。また、ハリー・ジエームストランペッタなどインストルメントの巧みさや、ヘレン・フォレストやトリス・デイなどの甘いボーカルは時代の経つたことを感じさせない。

FENのダンスマニュージックに体を揺すっていた世代は、もういちど青春時代の甘酸っぱい興奮を体験するだろうし、若い人にはフォーピートの楽しさを発見してもらおると思つ。私なりに、アメリカの専門書などをくつてお伝えしているが、この時代の音楽についてはお詳しい方が多いだろう。メール等でぜひご意見をお聞かせいただきたい。





















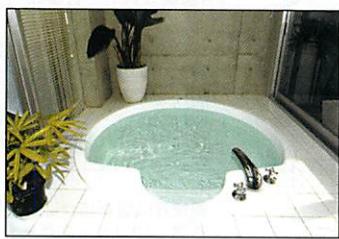




▲風呂好きにはたまらない！3階建ての最上階に設けられた、湘南の海を望むジャクジー。右手には「裕次郎灯台」が見える。



▲建物を出るとすぐ目の前が真名瀬海岸。まるで映画のようなロケーションだ。



▲ゆったりとした大きなバスタブにもこだわりが。



湘南で「暮らす」「働く」「楽しむ」「こだわる」

葉山 E氏宅

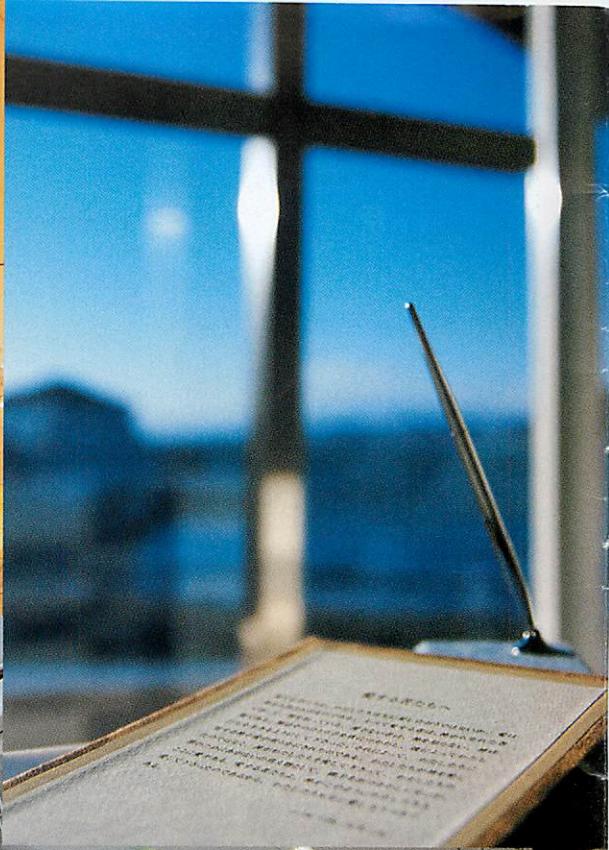
## 相模湾を一望! 手足を思いきり伸ばせる 究極の「湘南の風呂」

オーナーのEさんは、地元洋菓子店の経営者シエフ。仕事に疲れるとこのバスに浸かって手足を思いきり伸ばし、ジャクジーの泡に身を委ねる。日が西に傾いたころ逆光の中を漁船がもどってきて、且下の漁港に帆をとる光景がEさん的好みとか。

「月朝寝、朝酒、朝湯が大好きで…」  
は会津磐梯山の小原庄助さんだが、  
朝寝、朝酒はともかく、朝湯なら  
とにかく、風呂好きが多いのだ。  
それも日の高い内から湯浴みをする  
のが大好きだ。そのためには葉  
山の自然と一緒にした開放的な  
浴場がほしい。ほんとうは野天風  
呂がよいのだろうが、さすがに立  
冬を過ぎるといかに湘南でも湯冷  
めが心配になる。

そこで、風呂場をガラス張りにして「緑が飛び込んでくる」「星を仰ぐ」など湘南ビーブルは工夫を

凝らすのだが、その中でも究極の  
「湘南の風呂」が、これだ。  
葉山は真名瀬海岸沿いに建て  
られた、三階建ての建物の最上階  
にある風呂場は、相模湾側の一面  
がガラス張りだ。浴槽は直径1.  
5メートルはあるジャクジーバス。  
このバスに入つてまず目に飛び込  
んでくるのが白い「裕次郎灯台」。  
この海で育った石原裕次郎さんを  
偲んで命名された。その背景には  
江ノ島が望め、西風が吹けば遠く  
伊豆半島、その上に富士山が顔を  
出す。夜の帳(とぼり)が下りた  
後も、海岸線沿い走る車のライト  
が真珠の首飾りのように輝いて連  
なり、その中でひと際高く江ノ島  
灯台が10秒ごとに閃光を放つ。



# Guest House Wedding

海辺の貸切邸宅で過ごす贅沢な時間

アフィーテ葉山

[www.afite.com](http://www.afite.com)

 WATABE  
WEDDING

お問い合わせ・お申し込みは、葉山ウェディングサロン

**☎ 046-875-2541**

11:00 ~ 19:30  
(火曜定休)

JR 横須賀線逗子駅から、海岸回り 葉山一色行きバスで 15 分、鎌倉（あぶずり）下車

発行: Gocco 株式会社 〒154-0004 東京都世田谷区大字堂4-3-2 DS三井茶屋ビル6F  
編集: ニューマックス株式会社 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3 日本自動車会館3号館  
編集協力: 漢子・葉山コミニティ株式会社 〒240-0112 神奈川県三浦郡葉山町堀内50-2

2006.vol.2

Take Free  
¥0



**HAYAMA MARINA**



SINCE 1964

[www.hayamamarina.com](http://www.hayamamarina.com)

株式会社 葉山マリーナ 〒240-0112 神奈川県三浦郡葉山町堀内 50-2 TEL : 046-875-2670 / FAX : 046-876-1146